

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 ( 学 術 )	氏名 Author	YI YI MON
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論 文 題 目 Title of Dissertation The Role of International Cooperation: Motives and Consequences of Regional Trade Agreements			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	柿 中 真	広島大学大学院国際協力研究科 教授	印 Seal
審査委員 Committee	市 橋 勝	広島大学大学院国際協力研究科 教授	
審査委員 Committee	後 藤 大 策	広島大学大学院国際協力研究科 准教授	
審査委員 Committee	高 橋 新 吾	広島大学大学院国際協力研究科 准教授	
審査委員 Committee	Ching-Yang Lin	国際大学大学院国際関係学研究科 准教授	
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本博士学位論文は、国際貿易協定を一つの国際協力関係として捉え、国際経済におけるその役割について議論している。近年、経済統合が進展しつつある国際社会において、先進国間のみならず先進国・開発途上国間、開発途上国間で貿易協定が締結されている。そのような貿易協定の役割を分析することは、学術的のみならず政策的にも重要性の高い課題である。国際経済学及び国際関係論の分野における先行研究を踏まえた上で、国際貿易協定を中心に三つの重要な課題に対して、ネットワーク分析及び計量経済学手法を応用して実証研究を行っている。一つ目は貿易協定と政治協定の相互依存関係に関する研究、二つ目は二国間貿易協定と多国間貿易協定の動学的相互関係に関する研究、三つ目は二国間・多国間の貿易協定と国内の所得格差との関係性に関する研究である。それぞれの研究課題は新規性・重要性が高く、国際経済学の視点に立った研究結果及び研究含意を導出したことは非常に高く評価できる。本博士学位論文は5章から構成されている。</p> <p>序 章：導入 第2章：貿易協定と政治協定の動学的相互依存関係に関する研究 第3章：二国間貿易協定と多国間貿易協定の動学的相互関係に関する研究 第4章：二国間・多国間の貿易協定と国内の所得格差との関係性に関する研究 終 章：結論</p> <p>主な内容は以下のとおりである。第二章では、二つの異なる協定である貿易協定と政治協定の相互依存関係について、動学ネットワーク分析を応用して動学的視点から包括的に考察することを研究対象としている。主な研究結果としては、政治協定は貿易協定を推進するものの、貿易協定は政治協定を推進しないことが示された。この結果は、国家間における政治的関係と経済関係の相互依存が重要視されている中、重要な政策的含意を示している。第三章では、二国間貿易協定と多国間貿易協定の動学的相互関係について動学ネットワーク分析を応用して議論した研究である。主な結果としては、二国間貿易協定が多国間貿易協定の形成を促進することを示されており、国際貿易協定ネットワークの動学的変移を明らかにしている。第四章では、二国間と多国間の二種類の貿易協定が各国国内の所得格差とどのような関係性があるのかを計量経済学手法を応用して考察することを研究対象としている。</p> <p>第二章に関しては、Impact factor 付国際学術雑誌に受理され、出版されている。第四章については、Impact factor 付国際学術雑誌に投稿し、現在、レビュー中である。第三章については、Impact factor 付国際学術雑誌に投稿する予定である。これまでの研究を踏まえ、国際貿易政策に関する主要政策課題を体系的に構築・分析し、重要な政策的含意を導出していることは高く評価される。以上の結果、試験委員全員一致で、申請者が博士(学術)の学位を授与されるに十分な学識と能力を有しているものと認め、合格と判定した。</p>			